

医療介護多職種連携意見交換会

地域で最期まで暮らす住民を支えるために必要な連携を考える

実際にご家族を在宅で看取った方から、その経過を報告いただき、どのようにするとよりよい介護・看取りが出来たのか検討すると共に、特に医療・介護の連携の視点から業務の理解を深めます。

- 日 時：2017年2月14日（火）18:30～20:15（開場 18:00）
- 会 場：ちえりあ2階 大研修室（札幌市西区宮の沢1条1丁目・011-671-2200）定員 108名
- 対 象：医師、歯科医師、薬剤師、看護師、保健師、セラピスト、社会福祉士、介護福祉士、介護支援専門員、地域包括支援センター職員、行政職員、他西区内外で従事する医療介護福祉等専門職、地域住民他
- 申込み：事前申込み不要（当日直接会場におこし下さい）
- 問合せ：西区在宅ケア連絡会 FAX:011-351-5551・e-mail:info@zaitaku-care.info
<http://www.zaitaku-care.info>

報 告（18:35～19:10）

「97才の母親を70才の息子が自宅で介護した経験から」
講 師 大内 東さん（北海道大学名誉教授）

母親を看取る中、病院への入退院やグループホーム・サ高住への入退居そして在宅での介護等、様々な場面で必要となったサービスについて報告します。

意見交換（19:10～20:10）

「地域で最期まで暮らす住民を
支えるために必要な連携を考える」
グループワーク・意見交換

報告を受け、どのようにすると良い介護・看取りが出来たのかを検討し、医療・介護の連携の視点から互いの業務の理解を深めるとともに、連携を深めます。